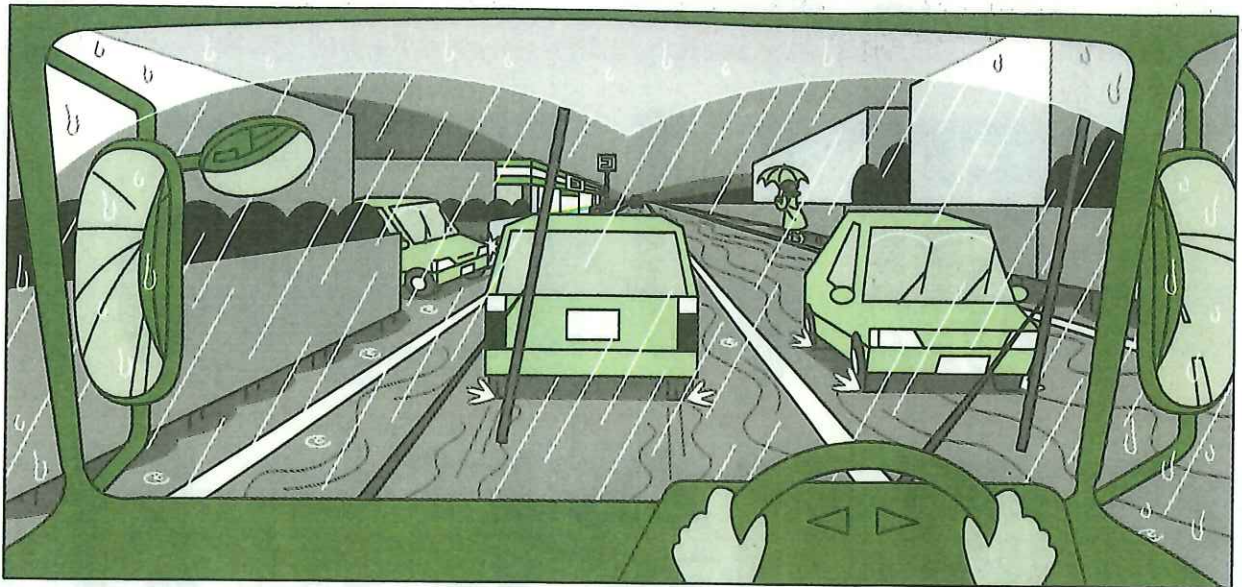


危険予知訓練 (KYT) シート：交通事故防止編 あなたならどうしますか？

〔第 160 回〕「土砂降りの雨の日の道路」

状況

あなたは、台風の接近のために土砂降りで、視界の悪い片側1車線道路を前車に追従しながら走行しています。左側の脇道からは合流しようとする車が見えます。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいのでしょうか。考えてみましょう。



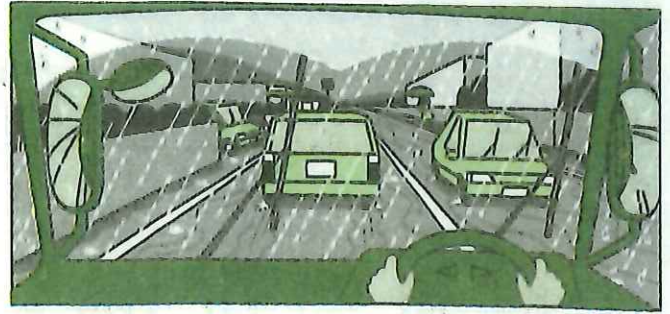
◆どのような危険がありますか？

◆どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

危険予知訓練(KYT)シートの解説

▶ 交通事故防止編

あなたは、台風の接近のために土砂降り、視界の悪い片側1車線道路を前車に追従しながら走行しています。左側の脇道からは合流しようとする車が見えます。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



どのような危険がありますか？

- ①脇道から出てくる車に気づき、減速した前車に追突する危険があります(図1)。
- ②前車の通過後に自車の前に出てきた左折車と衝突する危険があります(図2)。
- ③道路を横断してきた歩行者と衝突する危険があります(図3)。

どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

- ①この場面では、脇道から出てきた車に気づいた前車が減速することが考えられます。漫然と運転していると、減速に気づくのが遅れて追突する危険があります。また、台風などの大雨時は、通常に比べて停止距離も延びるので、特に注意が必要です。大雨の時に前車に追従する時は、通常よりも大きく車間距離をとって走行することを徹底しましょう。
- ②脇道から出てくる車は、前車が通過したのを見て「行ってしまえ」と、自車の前に出てくるのが予想できます。特に大雨など悪天候時は、早く目的地に着きたいなどと考え、普段行う安全確認がおろそかになり、強引な運転をする車両が増えます。そのような車がいることを理解しておき、他車の動きにはいつも以上に注意を払いましょう。この場面では、一時停止をして、安全に左折させてあげましょう。
- ③大雨の時は、視界が悪化し、歩行者等を見落としやすくなります。一方、傘を差している歩行者も、激しい雨音や傘の死角などで車の接近に気づかないことがあります。歩行者に気づいた時点で、しっかりその動静に注意を払いながら、慎重に運転しましょう。歩行者が自車の接近に気づいていないことを予測しておき、道路を横断してくる気配があれば一

図1

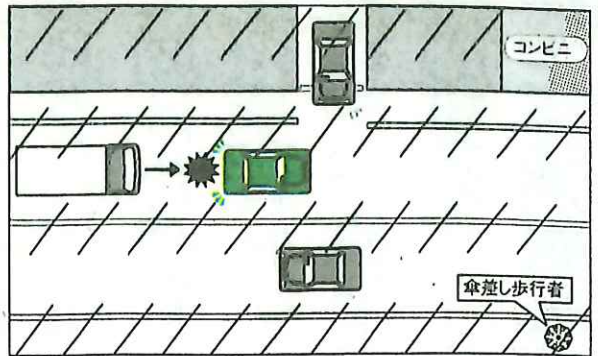


図2

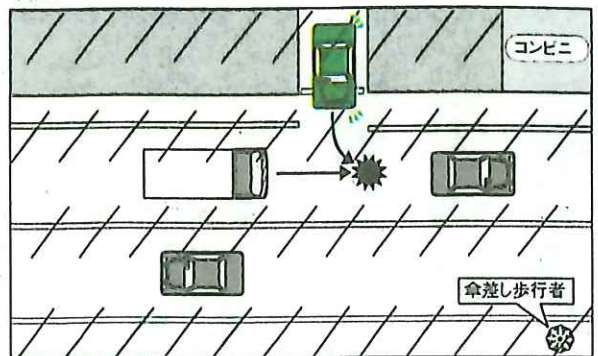
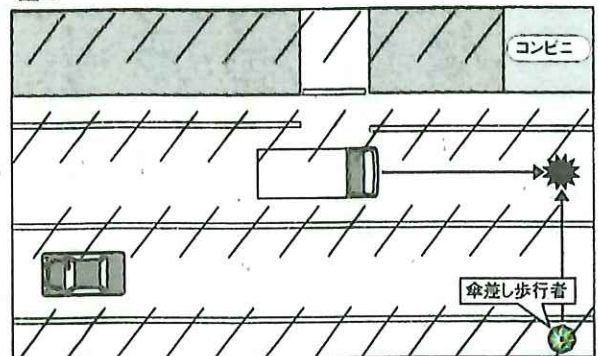


図3



時停止をして、歩行者の横断を優先させましょう。また、台風接近時の運転は、事故の危険性が高くなります。安全運転が困難な場合は、無理をせず一時退避することも大切です。